

平成20年度取組みの評価

評価の3年目となる平成20年度は、高砂市次世代育成支援行動計画に基づき、様々な事業が展開され、次のような成果をあげることができました。

以下、6つの基本目標ごとに実施した主なものをあげてみました。

目標1 子育て家庭への支援

従来まで使用していた「たかさご子育てお助けマップ」を刷新し、新たに「たかさご子育てすこやかガイド」を作成、発行しました。

また、市内8地区の民生委員会において、保育園・幼稚園・小学校・中学校の代表者が出席し、児童虐待防止についての研修会を実施しました。

目標2 子育て支援のコミュニティ整備

スポーツを通じて三世代の交流、ふれあいを深める「ふれあいスポーツ大会」を開催しました。また各小学校区の安全マップ集を更新し、PTAの方や地域の団体と協力して子どもの見守り活動を実施しました。

目標3 就労と子育ての両立支援

父親向け育児教室として、高砂市民病院の助産師による「パパママ育児レッスン」を開催しました。またきくなくみ保育園の民間移管を行い、4月より「真浄寺きくなくみ保育園」として開園しました。

この他、学童保育所の環境整備として、米田・米田西学童保育所をそれぞれ2つに分割し、環境の整備を行いました。

目標4 健全育成に向けた教育の充実

米田小学校の耐震補強工事、伊保、荒井幼稚園を除く8幼稚園及び宝殿中学校南棟の耐震診断を行いました。

また、老朽化に伴う阿弥陀小学校の移転改築に向け、移転用地の取得と造成工事を行いました。

この他「放課後こども教室」の開催や、「すこやかアップカレンダー」の作成・発行を行いました。

目標5 地域での生活環境の整備

沖浜・平津線（小松原工区）、米田79号線、神鋼前道路の道路改良により、歩行空間の整備を行いました。

目標6 安心して生み育てることができる環境の整備

妊婦健診にかかる費用について、制度改正により1回4,000円を上限に5回助成を行いました。

また、事故防止の健康教育と「子どもの救急対応ガイドブック」の配布により、急病時の対応を啓発しました。

以上、平成20年度は前期行動計画の4年目に当たり、各種事業を充実させるためのさらなる取り組みを行いました。特に、学童保育所の環境整備や各学校園の耐震診断、阿弥陀小学校の移転改築に向けての事業など、環境面での整備を充実することができました。

なお、平成21年度は前期計画期間の最終年であり、また平成22年度から始まる後期計画の策定を予定しています。今まで行ってきた事業実績と課題点をふまえ、後期計画を策定していきます。